

市民協働の

まちづくり

多様な主体、
多様な地域の個性を生かした
高島らしいまちづくり



市では、「市民協働のまちづくり推進指針」により行政と市民が対等に協力し合うまちづくりを進めています。
これにより、行政だけでは解決できなかった問題に柔軟な解決策が生まれたり、市民だけでは取り組みにできなかった問題に、安定感や継続性、社会的な広がり生まれ、活動が広く知られることにもつながります。
市内には、まちを元気にしようとして活躍されている方がたくさんおられます。また、高島の魅力に惹かれて市外から移り住まれた方も、これからの高島のまちづくりの担い手です。
いろいろな発想や力を寄せ集めて、それぞれの得意分野で協力し合う「たかしま版・市民協働のまちづくり」で豊かなまちを実現しましょう。

協働って何？

市では、「市民同士、または市民と行政が良きパートナーとなって、互いに信頼と責任を担い合い、それぞれの特性や能力を発揮しながら、まちづくりという共通の目標に向かって育ち合う関係」を市民協働とらえています。

たかしま市民協働交流センターは、市民活動団体、ボランティアグループ、サークル団体などの活動を応援する、高島のまちづくり拠点です。まちづくりに関する相談、情報発信、研修会や講座による団体のスキルアップ支援、交流会を通じた団体間のネットワークづくりなどを通じて、高島のまちが元気になるよう取り組んでいます。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

「たかしま市民協働交流センターだより」では、市内の活動団体の情報を発信しています。今回は、12月末頃に発行予定です。



●たかしま市民協働交流センター
開館時間 9時～17時
※休館：土日・祝
住所 今津町中沼一丁目4-1
(今津東コミュニティセンター内)
☎ (20) 5758

市民の柔軟な発想と実践力を活かす

協働事業提案制度

協働事業提案制度とは、地域課題を解決する事業企画を市民活動団体の方などから提案していただき、選考のうえ、市と団体が連携し、事業として取り組む制度です。
市民目線の新たな課題の発見や柔軟な発想、迅速な行動力を活かして、市との役割分担のもと、それぞれの特性を活かし事業を実践していただきます。

今年度は、3つの事業に取り組んでいます。



「まちの駅」空間創造事業

一般社団法人
めいどいんマキノ 市民活動支援課

地域住民の対話により、地域資源を活用した物産振興や情報発信、交流促進に取り組み、高島市の北の玄関口であるマキノ駅前に、賑わいの「場」を創造します。



高島市地域助け合い支援 (ファミリーサポート) センター事業

NPO 法人
元気な仲間 子育て支援課

育児支援や高齢者の生活支援など、地域で「支援を受けたい人」と「応援したい人」に会員登録をいただき、支援を受けたい人からの要請に応じて、応援したい人に取り継ぐ市民の助け合い制度です。

来年度事業の 公開プレゼン開催

平成 25 年度事業として提案された事業の公開プレゼンテーションが 10 月 30 日に開催されました。

防災、農業、若者定住、情報発信など、幅広い分野から7つの事業の提案がありました。審査の結果採択された事業は、調整や協議を経て、来年度事業として実践される予定です。



支えあいの社会づくりのための 移動販売事業

社会福祉法人
虹の会 障がい福祉課

高齢化が進む山間地域などに、移動販売車「ぎょうれつ号」がお邪魔し、買い物の不便さを解消するとともに、地域の人が集う場づくりに取り組んでいます。

また、障がい者の方が販売スタッフとなることで、障がい者の方の「働きの場」、「やり甲斐」を創造しています。